

労働力調査（基本集計）平成27年（2015年）平均（速報）結果の要約

1． 2015年平均の完全失業率は3.4%と、前年に比べ0.2ポイント低下（5年連続の低下）
完全失業者は222万人と14万人減少（6年連続の減少）

・完全失業率について、男性は3.6%と0.1ポイントの低下、女性は3.1%と0.3ポイントの低下
（→「本文」11，12ページ）

2． 2015年平均の就業者は6376万人と、前年に比べ25万人増加（3年連続の増加）

・就業者について、男性は3622万人と1万人の増加、女性は2754万人と25万人の増加
・15～64歳の就業者は5646万人と24万人の減少、65歳以上の就業者は730万人と49万人の増加

（→「本文」5ページ）

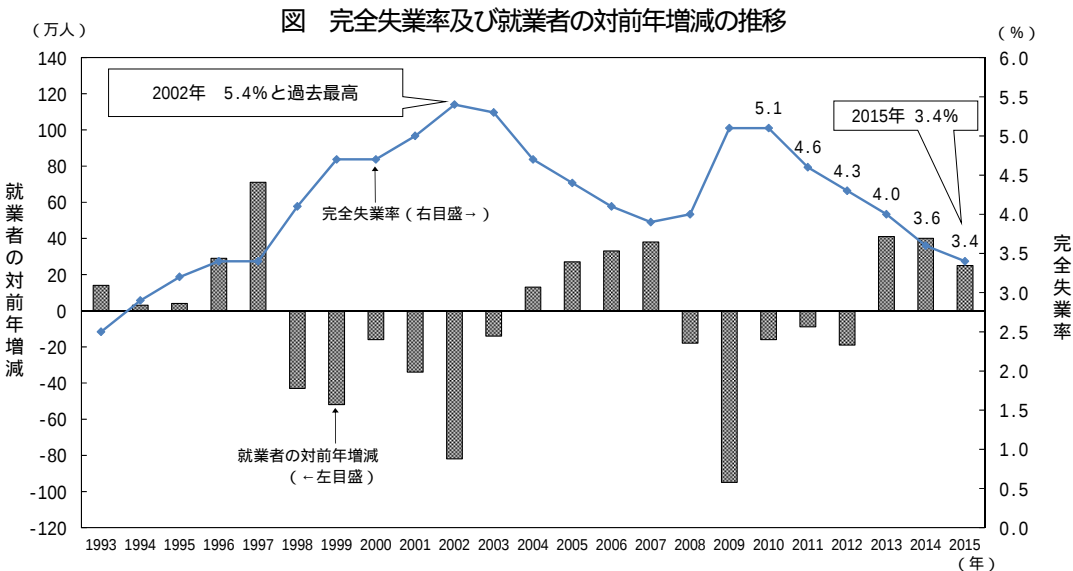


表 1 年齢階級別就業者の推移

		男女計								男			女		
		総数	15～64歳	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上
実数	2005年	6356	5862	580	1419	1324	1350	1189	495	3723	3414	309	2633	2448	185
	2006	6389	5878	573	1403	1364	1321	1218	510	3735	3418	316	2654	2460	194
	2007	6427	5889	560	1359	1407	1310	1254	539	3763	3425	338	2665	2463	201
	2008	6409	5856	546	1321	1439	1294	1255	553	3745	3398	347	2664	2457	207
	2009	6314	5750	513	1277	1453	1280	1227	565	3666	3315	351	2649	2434	214
	2010	6298	5728	492	1247	1471	1291	1227	570	3643	3293	350	2656	2434	221
	2011	6289	5718	482	1216	1501	1285	1233	571	3636	3287	349	2653	2431	222
	2012	6270	5675	475	1189	1510	1299	1202	595	3616	3252	364	2654	2423	231
	2013	6311	5676	487	1168	1516	1332	1172	636	3610	3222	389	2701	2454	247
	2014	6351	5670	492	1152	1514	1360	1152	681	3621	3207	414	2729	2462	267
	2015	6376	5646	496	1128	1499	1394	1130	730	3622	3181	441	2754	2466	288
対前年増減	2005年	27	14	-3	-14	29	-44	46	15	10	-2	12	17	15	2
	2006	33	16	-7	-16	40	-29	29	15	12	4	7	21	12	9
	2007	38	11	-13	-44	43	-11	36	29	28	7	22	11	3	7
	2008	-18	-33	-14	-38	32	-16	1	14	-18	-27	9	-1	-6	6
	2009	-95	-106	-33	-44	14	-14	-28	12	-79	-83	4	-15	-23	7
	2010	-16	-22	-21	-30	18	11	0	5	-23	-22	-1	7	0	7
	2011	-9	-10	-10	-31	30	-6	6	1	-7	-6	-1	-3	-3	1
	2012	-19	-43	-7	-27	9	14	-31	24	-20	-35	15	1	-8	9
	2013	41	1	12	-21	6	33	-30	41	-6	-30	25	47	31	16
	2014	40	-6	5	-16	-2	28	-20	45	11	-15	25	28	8	20
	2015	25	-24	4	-24	-15	34	-22	49	1	-26	27	25	4	21

3. 2015年平均の就業率は57.6%と、前年に比べ0.3ポイント上昇（3年連続の上昇）

- ・男性は67.8%と0.1ポイントの上昇、女性は48.0%と0.4ポイントの上昇
- ・うち15～64歳は73.3%（比較可能な1968年以降最高）と0.6ポイントの上昇。男性は81.8%と0.3ポイントの上昇、女性は64.6%（比較可能な1968年以降最高）と1.0ポイントの上昇
- ・なお、65歳以上は21.7%と0.9ポイントの上昇。男性は30.3%と1.0ポイントの上昇、女性は15.0%と0.7ポイントの上昇

（→「本文」6ページ）

表2 年齢階級別就業率の推移

	男女計			男			女		
	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上
2005年	57.7	69.3	19.4	69.9	80.4	28.7	46.3	58.1	12.6
2006	57.9	69.9	19.4	70.0	81.0	28.4	46.6	58.8	12.8
2007	58.1	70.7	19.7	70.3	81.7	29.1	46.6	59.5	12.8
2008	57.8	70.8	19.7	69.8	81.6	29.0	46.5	59.8	12.9
2009	56.9	70.0	19.6	68.2	80.2	28.4	46.2	59.8	13.0
2010	56.6	70.1	19.4	67.7	80.0	27.8	46.3	60.1	13.1
2011	56.5	70.2	19.2	67.6	80.1	27.5	46.2	60.2	13.0
2012	56.5	70.6	19.5	67.5	80.3	27.9	46.2	60.7	13.2
2013	56.9	71.7	20.1	67.5	80.8	28.6	47.1	62.4	13.7
2014	57.3	72.7	20.8	67.7	81.5	29.3	47.6	63.6	14.3
2015	57.6	73.3	21.7	67.8	81.8	30.3	48.0	64.6	15.0
前年からの変化 (2015-2014年)	0.3	0.6	0.9	0.1	0.3	1.0	0.4	1.0	0.7

4. 2015年平均の正規の職員・従業員は3313万人と、前年に比べ26万人増加（8年ぶりの増加）。非正規の職員・従業員は1980万人と18万人増加（6年連続の増加）

- ・正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は2270万人と3万人の増加、女性は1043万人と23万人の増加。年齢階級別にみると、15～64歳で3220万人と20万人の増加、65歳以上は93万人と7万人の増加
- ・非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は634万人と4万人の増加、女性は1345万人と13万人の増加。年齢階級別にみると、15～64歳で1713万人と15万人の減少、65歳以上は267万人と33万人の増加
- ・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は37.4%

（→「本文」9ページ）

5. 2015年平均の非労働力人口は4473万人と、前年に比べ16万人減少（3年連続の減少）

- ・うち65歳以上は44万人増加

（→「本文」4ページ）

- 留意事項 -

2011年平均（全国及び東北）は、東日本大震災の影響により、関連統計等を用いて補完推計を行った。また、2012年1月分結果から算出の基礎となるベンチマーク人口を、2005年国勢調査結果を基準とする推計人口（旧基準）から2010年国勢調査結果を基準とする推計人口（新基準）に切り替えた。この切替えによる変動（ギャップ）は全国の15歳以上人口で+69万人であったため、2012年以降の結果と接続できるように、2005年から2011年までの数値については、東日本大震災による補完推計の値も含め、時系列接続用数値を別途算出した（比率を除く）。本冊子では、この時系列接続用数値を掲載するとともに、同数値により前年比較を行っている。